

Day3 分割期胚移植の胚選択は難しい

堀金聖羅 佐藤学 中岡義晴 森本義晴

医療法人三慧会 IVF なんばクリニック

医療法人三慧会 HORAC グランフロント大阪クリニック

〈目的〉胚盤胞期胚移植は分割期胚移植に比べ妊娠率が高い。当院では卵巣刺激を行い新鮮胚移植の場合 Day3 で選択的単一胚移植(eSET)を施行し、余剰胚は胚盤胞で凍結している。今回 eSET の成績と、同一周期で得られた凍結胚盤胞の単一融解胚移植(SBT)の成績を比較した。

〈方法〉十分なインフォームドコンセントを行い、2015 年 1 月から 6 月に当院で eSET を施行、余剰胚を BL まで培養した 143 名を対象とした。移植後 GS を認めた妊娠群(49 名)と非妊娠群(94 名)、また余剰胚を胚盤胞凍結した BL 有群(95 名)と BL 無群(48 名)の平均年齢、Day3ET 可能胚数(GQE)をそれぞれ比較した。さらに eSET で妊娠せず、SBT を行った 52 名の成績を Day3 妊娠群と比較した。

なお胚盤胞の培養は余剰胚で Veeck 分類 Grade3 以上かつ 5 細胞以上の胚が 1 個以上ある症例のすべての胚を培養した。Day5 ないし Day6 に Gardner 分類 3BC 以上の胚盤胞を凍結保存した。

〈結果〉eSET 妊娠群は非妊娠群に比べ平均年齢は若く (35.4 vs. 37.3)、GQE は多かった (5.3 vs. 3.9)。BL 有群では BL 無群に比べ平均年齢が若く (35.9 vs. 37.4)、GQE は多かった (5.1 vs. 3.5)。また SBT の妊娠率は eSET より高かった (46.4% vs. 29.7%)。SBT 妊娠者(31 名)の総 ET 回数 2.3 回は eSET 妊娠群に比べ多かった。

〈考察〉 eSET 後余剰胚での SBT でおよそ 5 割の妊娠を認めることから、Day3 胚の選択の難しさが推測される。年齢が若く、Day3GQE がおよそ 5 個以上認める場合は eSET より SBT を選択することで治療期間の短縮および患者への精神的・経済的な負担が軽減するのではと推測する。